

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	がん検診事業	所管	保健福祉部 成人保健課
			Tel 2991-1811

事業の目的 (何の為に 行うか)	市民のがん死亡を減少させるため、がん検診事業を実施し、早期発見と早期治療を行うことにより、その効果として市民の健康寿命の延伸や医療費の削減を図る。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	胃・肺・大腸がん・・・40歳以上の市民 乳がん・・・40歳以上の市民 民〔女性〕 子宮がん・・・20歳以上の市民〔女性〕	対象とした数	559,526	人
		実際に 利用した数	27,515	人

活動の内容	(何を したか)	①4月1日発行の健康カレンダーで周知及び募集(受診対象者には受診券を発送する)。検診車で検診は、7月1日発行の広報より翌月・翌々月の検診について募集(隔月で1月まで掲載)。 ②6月から3月まで実施〔指定日あり〕 ③検診は保健センターで行う集団検診を基本としているが、検診車による検診、医療センターの人間ドックのオプション及び医療機関での個別検診も行っている。 ④検診後、医師の判定を受け、概ね1ヶ月後に本人に結果を通知する。							
		活動実績	項目名	受診券発送	21084	項目名	胃・肺・大腸・乳・子宮	27515	項目名
			単位	人		単位	人		単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	145,846	129,611	153,754	453.5

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	がん検診受診率	19年度:胃がん(5.3%)・肺がん(4.5%)・大腸がん(5.3%)・乳がん(10.9%)・子宮がん(4.8%)	—	—	—
			単位	%	単位

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了		終了		休止
	予算	現状どおり		* 増額		減額 終了

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了							
	総合評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他〔 〕	終了
	予算	現状どおり		増額		減額		終了

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	040900	TEL	2991-1811
事業コード	がん検診事業		保健福祉部 成人保健課			
040905	開始年度 昭和 58 年度 ー 終了年度 平成 年度					

②事業の概要	事業の種類	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針			老人保健法				
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	6節 保健・医療	中柱	2 生涯を通じた健康づくりの推進	小柱	(3) 生活習慣病予防事業の充実
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 11 位 ・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○								
行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
コード 3261 事務事業見直しの推進									
事業開始の背景 国民のがん死亡を減少させるため、昭和58年老人保健法に基づき、胃・子宮・乳がん検診を開始し、その後、平成元年、肺がん、平成4年、大腸がん検診を実施し、平成10年4月から厚生省による「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づき引き続き実施。									

③事業の内容	目的(何のために、具体的に) 市民のがん死亡を減少させるため、がん検診事業を実施し、早期発見と早期治療を行うことにより、その効果として市民の健康寿命の延伸や医療費の削減を図る。									
	対象(誰を、何を対象としているのか) 胃・肺・大腸がん…40歳以上の市民 [女性] 子宮がん…20歳以上の市民[女性]					利用数の考え方 がん検診の受診者数				
	対象数	単位	平成 18 年度	503,888	人	利用数	単位	平成 18 年度	25,025	人
			平成 19 年度	559,526	人			平成 19 年度	27,515	人
	事業の具体的な内容及び実施方法 ①4月1日発行の健康カレンダーで周知及び募集(受診対象者には受診券を発送する)。検診車で検診は、7月1日発行の広報より翌月・翌々月の検診について募集(隔月で1月まで掲載)。 ②6月から3月まで実施[指定日あり]。 ③検診は保健センターで行う集団検診を基本としているが、検診車による検診、医療センターの人間ドックのオプション及び医療機関での個別検診も行っている。 ④検診後、医師の判定を受け、概ね1ヶ月後に本人に結果を通知する。									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input checked="" type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())								
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
平成19年度中に改善した点 検診車で行う胃・肺がんの検診を3月まで実施し、より多くの市民に受診機会を提供した。また、子宮がん検診の申込者に対し受診勧奨を実施した。結果、受診者が増加。										

⑤経費	《会計種別》 一般会計									
			平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)					
	当初予算		136,961	145,846	165,766					
	決 算 (見込み含む)		114,207	129,611						
	(嘱託職員) (臨時職員)		(人) (4.20 人)	(人) (6.10 人)						
	正規職員人件費		2.56 人 23,552	2.57 人 24,143		※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。				
	公債費									
	事業費合計		137,759	153,754						
	財源内訳		一般財源	122,112	136,994	146,760				
			国・県支出金							
		受益者負担金	15,647	16,760	19,006					
		市債								
		その他								
市民一人当たり(単位:円)		407.7	453.5							
利用数一単位あたり(単位:円)		5,504.9	5,588.0							

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	受診券発送	定員制(胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮がん)	人	19,464	21,084	21903	
		胃・肺・大腸・乳・子宮	胃・肺・大腸・乳:40歳以上 子宮:20歳以上の受診者数	人	25,025	27,515	32000	
	成果分析	がん検診受診率	19年度:胃がん(5.3%)・肺がん(4.5%)・大腸がん(5.3%)・乳がん(10.9%)・子宮がん(4.8%)	目標値	—	—	左記受診率	の5%増
実績				—	—	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2		
達成率				—	—		1	

⑦一次評価	評価項目	現 状 評 価	評価項目	現 状 評 価		
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性	
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性	
		<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	特に改善を要する点はないと思われるが、今後とも医師会との協議等を含め、事業内容の改善を検討していく必要がある。					
⑧二次評価	今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)		時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定		がん検診の円滑な実施。		がんの早期発見・早期治療のため、受診率の向上をはかる。	平成21年3月末
	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())				
予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
評価理由 がん検診事業を実施することにより、がんの早期発見・早期治療に結びつけ、がん死亡を減少させ、その効果として市民の健康寿命の延伸や医療費削減の波及効果も期待でき、今後も継続して実施する必要がある。						
評価日		平成20年5月1日		記入者職氏名 成人保健課長 細江 松子		

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	事前評価	部内優先順位… 11 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
⑨個別計画における方向性	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業				
	見込まれる貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業				
		<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業				
評価理由	本事業は、市民の健康を守るために重要な事業であり、更なる受診率の向上にむけ取り組まれない。なお、現在の受診者の高齢者率は高く、さらなる高齢化が当該者数の増加につながる予想される。そのため、適切な将来予測をもって本事業を進める必要がある。					
評価日	9月1日					

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画 本事業の左記計画における位置づけ… 無し 計画コード					
	施策の体系	施策の方向				
	◎次世代育成支援行動計画 本事業の左記計画における位置づけ… 無し 計画コード					
	基本目標					
主要課題						
施策の方向						